

埼玉県青少年健全育成・支援プラン達成目標一覧

【進捗状況の凡例】



: 目標値を上回る



: 策定時より改善



: 策定時から横ばい



: 策定時より悪化

1 基本目標 I 関係 「明日の埼玉を担う青少年の育成・支援」

達成目標	計画策定時の値	最新値	目標値	達成目標の定義	進捗状況
児童・生徒の8割以上に身に付いている「規律ある態度」の項目数	小学校 72項目中 62項目 中学校 36項目中 31項目 (22年度)	69項目 34項目 (25年度)	72項目 36項目 (28年度)	県内全小・中学生を対象に実施する「規律ある態度」の質問紙調査において、児童・生徒の8割以上が「よくできる」「だいたいできる」と回答した項目数。各学年でそれぞれ12の達成すべき項目を設定。	
人権啓発事業への参加者数	18,509人 (22年度)	20,111 (25年度)	21,000人 (28年度)	人権尊重社会をめざす県民運動における各種事業や市町村・企業への講師派遣研修会などへの参加者数	
就業率	58.7% (22年)	57.2% (25年)	60.0% (28年)	本県における15歳以上の人口に占める就業している人の割合。	
社員を海外研修に派遣した県内中小企業の割合	3.0% (22年度)	2.1% (25年度)	10.0% (28年度)	社員を海外研修に派遣した県内中小企業の割合。	
保育サービスを利用可能な児童数	97,473人 (22年度末)	110,274人 (25年度末)	113,000人 (28年度末)	保育所、家庭保育室、企業内保育所、特定保育、幼稚園預かり保育などを利用可能な児童の数。	
保育所待機児童数	1,186人 (23年 4月1日)	905人 (26年 4月1日)	550人 (29年 4月1日)	保育所の入所待機児童の数。	

2 基本目標Ⅱ関係 「青少年が安心・安全に生活できる環境の整備」

達成目標	計画策定時の値	最新値	目標値	達成目標の定義	進捗状況
犯罪発生件数 (人口千人当たり)	14.8件 (22年)	11.7件 (25年)	12.8件 (28年)	県内で1年間(1月～12月)に発生した人口千人当たりの刑法犯罪の件数。	↑
交通事故死者数	198人 (22年)	180人 (25年)	120人 (28年)	県内で1年間(1月～12月)に発生した交通事故による死者数(事故後24時間以内)。	↗
児童虐待相談のうち助言・指導により解決した割合	60% (22年度)	60% (25年度)	70% (28年度)	児童相談所及び市町村がそれぞれ受け付けた児童虐待相談のうち、早期に解決することができた件数の割合。	⇒
特別支援学校高等部で一般就労を希望する生徒のうち、実現した割合	70% (22年度)	74.1% (25年度)	90% (28年度)	県立特別支援学校高等部の生徒のうち、1年次に一般就労を希望した生徒が卒業する時点で一般就労できた割合(内定を含む)。	↗
民間企業の障害者雇用率	1.51% (23年)	1.80% (26年)	1.85% (28年)	障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく、常用労働者56人以上の民間企業における障害者の雇用率。	↗
不登校(年間30日以上)児童・生徒数	小学校 1,014人 中学校 5,031人 (22年度)	912人 4,414人 (25年度)	950人以下 4,500人以下 (28年度)	1年度内に30日以上欠席した公立小・中学校の児童・生徒数。病気や経済的理由によるものを除く。	↑
公立高校1年生の中途退学率及び中途退学者数	率 3.4% 数 1,261人 (22年度)	率 3.0% 数 1,014人 (25年度)	率 2.7% 数 1,000人以下 (28年度)	公立高校(全日制・定時制)の1年生の中途退学率及び中途退学者数。	↗

3 基本目標Ⅲ関係 「家庭・学校・地域が一体となった教育の推進と子育て支援の充実」

達成目標	計画策定時の値	最新値	目標値	達成目標の定義	進捗状況
「教育に関する3つの達成目標」における基礎学力定着度	小学校3年生 94.1% 小学校6年生 95.0% 中学校3年生 92.4% (22年度)	95.5% 97.1% 91.3% (25年度)	95.0% 95.0% 95.0% (28年度)	県内全小・中学生を対象に実施する「読む・書く」「計算」のペーパーテストの平均正答率。	➡
児童・生徒の8割以上に身に付いている「規律ある態度」の項目数(再掲)	小学校 72項目中 62項目 中学校 36項目中 31項目 (22年度)	69項目 34項目 (25年度)	72項目 36項目 (28年度)	県内全小・中学生を対象に実施する「規律ある態度」の質問紙調査において、児童・生徒の8割以上が「よくできる」「だいたいできる」と回答した項目数。各学年でそれぞれ12の達成すべき項目を設定。	➡
体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童・生徒の割合	小学校 79.3% 中学校 83.9% 全日制高校 87.4% (23年度)	80.8% 84.5% 88.2% (25年度)	80.0% 85.0% 90.0% (28年度)	各学校で実施している体力テストの各種目ごとの記録を得点化し、その合計を5段階絶対評価した上位3段階に入る児童・生徒の割合。	➡
大学や研究機関などと連携した講義や授業を教育活動に取り入れている県立高校の割合	71.5% (22年度)	88.5% (25年度)	100.0% (28年度)	大学・研究機関・企業などでの講義への生徒の参加、大学・研究機関・企業などから招いた講師による講義や授業、講演などを実施している県立高校の割合。	➡
保育サービスを利用可能な児童数(再掲)	97,473人 (22年度末)	110,274人 (25年度末)	113,000人 (28年度末)	保育所、家庭保育室、企業内保育所、特定保育、幼稚園預かり保育などを利用可能な児童の数。	➡
保育所待機児童数(再掲)	1,186人 (23年4月1日)	905人 (26年4月1日)	550人 (29年4月1日)	保育所の入所待機児童の数。	➡
小・中学校における学校応援団の年間活動回数	175回 (22年度)	211回 (25年度)	210回 (28年度)	小・中学校における学校応援団の1校当たりの年間平均活動回数。	↑